

授業科目名	慢性看護Ⅰ			担当教員	中村 光江、山本 孝治、 西山 陽子
開講年次	2年前期	セメスター	3	時間数(単位数)	30(2)
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	各ライフステージにわたる、慢性疾患とともに生きる人を理解するための概念を学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 慢性病の特徴と生活への影響について説明できる。 2. 慢性病とともに生きる人への理解や看護を支える理論や概念を説明できる。 3. 慢性病とともに生きる人とその家族へのアセスメントの視点や援助方法について例を挙げて述べるができる。 				
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	既習の基礎科目を基に慢性病を有する人を対象として看護を展開・応用する科目である。長期間にわたって病気と共に生きる人についての概念や理論を学ぶことで、人間に対する理解を深めることができる。同時にどのような困難を経験するのを知り、その困難さを含めた療養生活を支える看護を学ぶため、「人間の尊厳と権利を擁護する力」を育むことができる。また、病気をコントロールしつつ自分らしく生きていくという慢性病を持つ人の課題に対する有効な援助を学ぶことによって、「問題解決能力」を向上させることができる。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	○			◎	
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	慢性病とその治療の特徴 看護の役割	講義	予習：テキスト第Ⅰ章 熟読 「慢性期看護とは」	45分	中村
2	慢性病とともに生きる人とその家族の身体的・心理社会的特徴 (受け入れ過程 自己概念 ゆらぎ)	講義	予習：テキスト第Ⅱ章 熟読 「慢性疾患を有する人とその家族の理解」	45分	中村
3	各ライフステージにおける慢性病の特徴と影響（特に成人期）	講義	予習：事前配布資料熟読 ライフステージについて復習。	45分	中村
4	慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本 生活習慣 ヘルスプロモーション セルフケアを支える看護	講義	予習：テキスト第Ⅲ章 熟読 「慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本」	45分	中村
5	行動変容を促す支援 エンパワーメント アドボカシー アンドラゴジー（成人教育）	講義	予習：テキスト第Ⅲ章 熟読 「慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本」	45分	中村
6	消化器系障害とともに生きる人への看護(1) 胃・十二指腸潰瘍 肝炎 肝硬変 肝臓がん	講義 (GW)	予習：テキスト第Ⅴ章 「胃・十二指腸潰瘍」「慢性肝炎」「肝硬変」「肝臓がん」	45分	山本
7	消化器系障害とともに生きる人への看護(2) 潰瘍性大腸炎・クローン病 大腸がん	講義 (GW, AL)	予習：テキスト第Ⅴ章 「潰瘍性大腸炎」「クローン病」 病態理解の課題シート	45分	山本
8	慢性病とともに生きる人への理解(1) 療養の実際、患者会の活動について	講義	予習：クローン病の病態生理、生活への影響についてまとめる 復習：レポート	45分	ゲストスピーカー

9	呼吸器系障害とともに生きる人への看護 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患	講義	予習：テキスト第V章 「呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助」 * 授業開始時にテキストから予習の確認テストを行う。	60分	西山
10	循環器系障害とともに生きる人への看護 高血圧 慢性心不全 虚血性心疾患	講義	予習：テキスト第V章 熟読 「循環器系の障害を有する人とその家族への援助」 「疾病と治療Ⅰ」循環器系の復習 * 確認テスト(病態生理)を行う。	60分	中村
11	腎機能障害とともに生きる人への看護 慢性腎臓病 腎不全 人工透析	講義	予習：テキスト第V章 熟読 「腎・泌尿器系の障害を有する人とその家族への援助」 「疾病と治療Ⅱ」の糖尿病・腎疾患 * 確認テスト(病態生理)を行う。	60分	中村
12	慢性の脳・神経系障害とともに生きる人への看護 脳梗塞 パーキンソン病	講義	予習：テキスト第V章 「脳・神経系の障害を有する人とその家族への援助」 * 授業開始時にテキストから予習の確認テストを行う。	60分	西山
13	慢性病とともに生きる人への理解 (2)「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の理解	講義 (AL)	予習：事前資料「慢性疾患の病みの軌跡モデル」 復習：事例について考える	60分	中村
14	慢性病とともに生きる人への理解 (3)「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の活用	講義 (AL)	復習：「病みの軌跡」の聴き取り	60分	中村
15	試験へのフィードバック 科目全体のまとめ	講義	復習：全体の振り返り、	30分	中村 山本 西山
先行履修科目					
テキスト	鈴木久美他 編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂第3版、南江堂、2019.				
参考文献	鈴木志津枝 編：慢性期看護論 第3版、ヌーヴェルヒロカワ、2014. Woog, P. (ed.) : The Chronic Illness Trajectory Framework-The Corbin and Strauss Nursing Model. 1992, 黒江ゆり子他訳：慢性疾患の病みの軌跡、医学書院、1995. Strauss,A.L.et al. (ed.) : Chronic Illness and the Quality of Life, 南裕子監訳：慢性疾患を生きる、医学書院、1987.				
評価方法	試験(80%)、レポート(10点)、授業への参加(10%)で総合的に評価する。				
教員等の実務経験	慢性看護(腎臓内科、消化器科、糖尿病専門科など)の分野で看護師として臨床経験がある教員が講義を担当する。				
メッセージ	「慢性看護Ⅰ」で学ぶ理論や概念は、2年生前期の「健康行動論」と関連させることでより看護実践に活用できるようになります。本科目での学びは、後期の「慢性看護Ⅱ」の演習において具体化され、その後の「慢性看護実習」(レベルⅢ)での発展的活用につながっていきます。				